

SRS テレフォニーおよび MGCP フォールバックの設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[FXS ポートのダイヤルトーンなしは FXO ポートが ISDNリンクを通して、または着信コールを作ることができません](#)

[解決策](#)

[解決策 1](#)

[解決策 2](#)

[フェールオーバー状態にあるとき、DID を使用して MGCP ゲートウェイへの着信コールを受信できない](#)

[解決策](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

概要

ゲートウェイで設定される存続両方リモートサイトテレフォニー (SRST) バージョン 2.0 またはそれ以降および Media Gateway Control Protocol (MGCP) フォールバックがある場合これらの MGCP フェールオーバー問題のどちらかを解決するためにこの資料を使用して下さい:

- Foreign Exchange Station (FXS) ポートの電話はダイヤルトーンを聞きません、または外国為替事務所 (FXO) ポートまたは ISDNリンクを通して着信コールを作ることができません。
- 設定される MGCP ゲートウェイに、フェールオーバー 状況の MGCP フォールバックのための Direct Inward Dial (DID) の着信コールを作ることができません。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco IOS[®] ソフトウェアリリース 12.2(11)T およびそれ以降

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

FXS ポートのダイヤルトーンなしは FXO ポートか ISDNリンクを通して、または着信コールを作ることができません

この問題はこのセクションで詳しく説明されます。

ダイヤルトーンを聞かない、または FXO ポートか ISDNリンクを通して着信コールを作ることができません FXS ポートの電話が表示されます。そのような状況で、これは関連した一般電話サービス (POTS) ダイアルピアの下で設定されます:

```
dial-peer voice X pots application mgcpapp
```

注: Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(7)T 以降では、`application mgcpapp` コマンドは PRI バックホールをサポートする POTS ダイアルピアに適用されません。

この場合、これと同じようなエラーメッセージが Cisco IOSゲートウェイのコンソールで現れます:

```
*Mar 1 20:41:58.571: %CALL_CONTROL-6-APP_NOT_FOUND:  
Application mgcp in dial-peer 10 not found.  
Handing callid 13 to the alternate app.
```

注: Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.4(8c) またはそれ以降に関しては、`application mgcpapp` コマンドが適用する時:

この場合、これと同じような警告メッセージが Cisco IOSゲートウェイのコンソールで現れます:

```
Warning: This command has been deprecated and will be automatically  
converted to the following:  
service mgcp
```

Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(7)T またはそれ以降に関しては、`application mgcpapp` コマンドは POTSダイアルピアに適用するべきではありません。

解決策

図 1: リモート中央 Cisco Unified CallManager に接続されるブランチ オフィス Cisco IP フォン Cisco Unified CallManager が得難くなる場合、電話はコール処理のために Cisco 音声 ルータを使用できます。電話は SRST モードにこれらのどちらかが発生するとき入ります:

- セントラルサイトの Cisco Unified CallManager への WAN リンクはダウン状態になります。
- Cisco Unified CallManager への接続は失われます。

SRST は WAN リンクがアップするか、または電話まで Cisco Unified CallManager によって再度登録できるまでブランチ オフィスの電話が機能し続けるようにします。

この問題を解決するには、このセクションで説明するソリューションのいずれかを使用します。

解決策 1

デフォルト アプリケーションへのフォールバックへのルータに関しては、グローバル コンフィギュレーション モードのこのコマンドを設定して下さい:

Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(13)T 以前の場合 :

```
R(config)#call application alternate default
```

Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(14)T 以降の場合 :

```
R(config)#application R(config-app)#global R(config-app-global)#service alternate Default
```

MGCP アプリケーションが利用できない場合、デフォルト アプリケーションは引き継ぎます。

解決策 2

フォールバック モードで使用するために別の POTSダイヤルピア (デフォルト アプリケーション H323) を作成して下さい。

フェールオーバー状態にあるとき、DID を使用して MGCP ゲートウェイへの着信コールを受信できない

この問題はこのセクションで詳しく説明されます。

設定される MGCP ゲートウェイにフェールオーバー 状況の MGCP フェールオーバーのための着信コールを、DID と、作ることができません—接続があるのに、電話は鳴りません。これはこの問題を確認するとき Cisco IOSゲートウェイで使用される `debug isdn q931` コマンドの例です:

問題確認例

```
*Mar 1 20:53:33.511: ISDN Se1/0:15 Q931: RX <- SETUP pd
= 8 callref = 0x000A
    Bearer Capability i = 0x8090A3
        Standard = CCITT
        Transfer Capability = Speech
        Transfer Mode = Circuit
        Transfer Rate = 64 kbit/s
    Channel ID i = 0xA98381
        Exclusive, Channel 1
    Calling Party Number i = 0x00, 0xA2, '5000'
        Plan:Unknown, Type:Unknown
    Called Party Number i = 0xC1, '5002'
        Plan:ISDN, Type:Subscriber(local)
*Mar 1 20:53:33.543: ISDN Se1/0:15 Q931: TX ->
CALL_PROC pd = 8 callref = 0x800A
    Channel ID i = 0xA98381
        Exclusive, Channel 1
*Mar 1 20:53:33.543: ISDN Se1/0:15 Q931: TX -> CONNECT
pd = 8 callref = 0x800A
*Mar 1 20:53:33.595: ISDN Se1/0:15 Q931: RX <-
CONNECT_ACK pd = 8 callref = 0x000A
*Mar 1 20:53:40.045: ISDN Se1/0:15 Q931: RX <-
DISCONNECT pd = 8 callref = 0x000A
    Cause i = 0x8090 - Normal call clearing
```

```
*Mar 1 20:53:40.057: ISDN Se1/0:15 Q931: TX -> RELEASE
pd = 8 callref = 0x800A
*Mar 1 20:53:40.073: ISDN Se1/0:15 Q931: RX <-
RELEASE_COMP pd = 8 callref = 0x000A
```

解決策

ここでは、この問題に対するソリューションを詳細に説明します。

関連した POTS ダイアルピアでこれらのコンフィギュレーションを作成したことを確認して下さい:

```
dial-peer voice X pots application mgcpapp incoming called-number . direct-inward-dial port
1/0:15
```

注: Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3(7)T 以降では、**application mgcpapp** コマンドは PRI バックホールをサポートする POTS ダイアルピアに適用されません。

これは適切な設定の例です:

設定例

```
isdn switch-type primary-net5
!
!
ccm-manager fallback-mgcp
ccm-manager mgcp
ccm-manager config
mta receive maximum-recipients 0
!
controller E1 1/0 . pri-group timeslots 1-12,16 service
mgcp
!
controller E1 1/1
!
!
!
interface Ethernet0/0
 ip address 10.48.80.9 255.255.255.0
 duplex auto
 speed auto
!
interface Serial1/0:15
 no ip address
 no logging event link-status
 isdn switch-type primary-net5
 isdn incoming-voice voice
 isdn bind-l3 ccm-manager
 no cdp enable
!
!
!
call rsvp-sync
!
call application alternate DEFAULT !--- For Cisco IOS@
Software Release 12.3(14)T or later, this command was
replaced by the service command in global application
configuration mode. application global service alternate
```

```
Default Refer to Solution 1 for the command syntax. !
voice-port 1/0:15 ! mgcp mgcp dtmf-relay voip codec all
mode cisco mgcp package-capability rtp-package mgcp sdp
simple ! mgcp profile default ! ! ! dial-peer cor custom
! ! ! dial-peer voice 10 pots application mgcpapp
incoming called-number . destination-pattern 9T direct-
inward-dial port 1/0:15 ! ! call-manager-fallback limit-
dn 7960 2 ip source-address 10.48.80.9 port 2000 max-
ephones 10 max-dn 32 dialplan-pattern 1 704....
extension-length 4 keepalive 20 default-destination 5002
alias 1 5003 to 5002 call-forward busy 5002 call-forward
noan 5002 timeout 12 time-format 24 ! ! line con 0 exec-
timeout 0 0 line aux
```

注: 送信コールに関しては、[デスティネーションパターン](#)を設定して下さい。

リンクは基本 SRST を設定するためにプロシージャを記述する [Ciscoサポート コミュニティ](#) のビデオにここにあります: [基本 SRST の設定](#)

確認

このセクションでは、設定が正常に動作しているかどうかを確認する際に役立つ情報を提供しています。

特定の show コマンドは、[Output Interpreter Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) によってサポートされています。このツールを使用すると、show コマンド出力の分析を表示できます。

- [全 call-manager-fallback が](#) Cisco Unified CallManager フォールバックの間にネットワークの Cisco すべての IP フォン、音声ポートおよびダイヤルピアの詳細なコンフィギュレーションを表示することを [示して下さい](#)。
- [show call-manager-fallback dial-peer](#) : CiscoCallManager のフォールバック時のダイヤルピアの出力を表示します。
- [show ccm-manager fallback-mgcp](#) : Cisco CallManager サーバのリストと、それらの現在のステータスおよび可用性を表示します。
- [監視しますおよび Cisco SRST の管理](#)— Cisco survivable remote site telephony (SRST)

関連情報

- [Cisco SRST テレフォニー の 設定](#)
- [Cisco Unified CallManager および Cisco IOS インターオペラビリティ 機能道路地図](#)
- [Cisco Unified CallManager のための MGCP ゲートウェイ サポートの設定](#)
- [MGCP の設定 - Cisco CallManager と連携した BRI シグナリングのバックホールの制御](#)
- [Cisco Unified CallManager のための MGCP PRI バックホールおよび T1 CAS サポートの設定](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)